



シーニックバイウェイ北海道 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

十勝に3つあるルートの1つ「十勝平野・山麓ルート」は、平成21年に指定ルートに認定され、鹿追町、新得町、清水町、士幌町、上士幌町、足寄町と平成23年度に陸別町が加入し、現在は、7町、45団体で構成されています。

当ルートは、日高山脈と東大雪山系の山麓を巡るルートで、地域性と雄大さを表現する「十勝平野」と、奥深い森林のイメージを内包する「山麓」を融合させたルート名称としています。

活動テーマとなっている「スケールは日本一 広さ・環境・ツーリズム・農」に表されるように、広大な農地や牧場、国立公園を始めとした雄大な自然が特徴で、大自然を満喫する体験メニューも豊富です。また、ルート内の3つの峠を始めとして、エリア内には十勝平野を遠くまで見渡せる展望台が多く点在し、四季折々の素晴らしい風景を見ることができます。

景色を楽しむなら「シーニックカフェ」へ！

シーニックカフェとは、地域ならではの魅力を味わえるカフェで、ルート内の活動団体主催の期間限定カフェや、ルートおすすめの飲食店などを対象にしています。当エリアでは、士幌高原ヌプカの里、ナイトハイ高原牧場レストハウス【仮設】、三国峠Cafe、ヨークシャーファームYORKSHIRE FARM、旧狩勝線ミュージアム&カフェ、カフェダイニングサルビア、びまんてい美蔓亭、カントリーパパ、レストランあしよろ、tomono、ソフトクリーム工房の11の施設が登録されており、北海道の美しい景観に関する情報やドライブ観光情報等の発信を行っています。カフェの登録施設数は全ルートの中でも一番多く、各シーニックカフェでは、ルート共通の卓



紺野 裕乃 (こんの ひろの)

十勝シーニックバイウェイルートコーディネーター
(一社)北海道開発技術センター上席研究員

札幌市出身。入社後、2010年から「十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間」、13年から「十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート、南十勝夢街道」のルートコーディネーターを担当。北海道のフットバス調査研究やフットバス歩きで学んだ「地域の産業や生活・景観を活かした観光・地域づくり」を活かせるよう、地域の方々と日々交流を深めながら地域活動の支援を行っている。



ナイトハイ高原牧場レストハウス【仮設】(上士幌町)

展望台 美蔓パノラマパーク (清水町)



上プレートやポスター等の掲示、スタンプラリーを開催して連携を図っています。

また、素晴らしい風景と地域ならではの食を楽しむのがシーニックカフェです。当ルートでは、森林、田園、牧場等、山麓ルートならではの大自然を間近にダイナミックに感じることができる風景と、食の王国十勝の食材を使った食事やスイーツ等、十勝の美味しいものが味わえます。ドライブで十勝の風景を楽しみながらの休憩スポットとしてぜひお立ち寄りください。

おもてなしの心を植栽活動で

候補ルート時から実施している連携活動の花壇事業は、シーニックバイウエイの名前をPRするとともに地域間の連携基盤づくりとしてボランティア・サポート・プログラムを活用しながら継続的に進めています。各町では、統一の看板を設置し、訪れた方のおもてなしや地域内での連携を深めるために毎年花植えを行います。毎年、6月頃になると花植えが始まり、町の沿道は花で彩られ、ルート内をドライブすると様々な草花が出迎えてくれます。

また、平成24年度から、十勝シーニックバイウエイ3ルートおよび、大雪・富良野ルート、北海道ガーデン街道が連携し、未来へつなぐ100年の木プロジェクトを行っています。これは、北海道観光の道しるべとなる「サインツリー」を旭川～十勝間の沿道等に植樹し、地域の要所や景観の優れた（シーニック）箇所等を案内しておもてなしを行うもので、維持管理をしながら、次の世代に美しい景観を残す活動を広域連携で

実施しています。ヤマナラシ・エレクトアという細長い木を見つけたら、それがサインツリーなので、探してみてください。

継続は力なり～不用看板の有効活用～

ルートが指定された時から継続して、ルート内の景観保全と交流人口の増加を図るため不用看板を有効活用する活動を行っています。活動にあたっては、エリア内の不用看板について調査を行い、特に目立っていた十勝の入口や道東自動車道の出口等の不用看板を撤去せずに、ルート名とシーニックバイウエイのロゴを入れたPR看板に架け替えを行っています。現在はルート内6カ所の架け替えを実施しており、所有者を探して調整を行う等、大変な場面もありますが、今後も少しずつ活動を続けていく予定です。また、この活動については、シーニックバイウエイ北海道推進協議会からも評価をいただいております。ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2014で、「美しい景観づくり賞、活動団体賞」を受賞しています。

おわりに

十勝平野・山麓ルートは、ルートの特徴である雄大な自然景観を活かして、住んで気持ちのよい、訪ねてみて美しい景観づくりや、連携した地域づくりを目標に活動を継続しています。その継続した活動が大きな思いとなって、今も地域の中で引き継がれています。私も地域活動に参加していますが、その中で人や場所、物などたくさんの色々な「出会い」がありました。その出会いを大事にして、ルートの皆さんが長く活動を続けられるような一助となるように今後も活動に携わっていかねばと思っています。



シーニックカフェ 土幌高原ヌブカの里 (土幌町)



未来へつなぐ100年の木プロジェクトの活動 (新得町 狩勝峠5合目付近駐車帯) ヤマナラシ・エレクトア



シーニック連携花壇事業 (上土幌町)



不用看板を再生しルートをPR (鹿追町)